

庄内西・庄内南・千成小学校 校区

4月

5月 庄内南 運動会

6月第一回 幼保こ小連絡会議



今年度の校区のテーマ

「子どもの可能性を広げるために ～教職員の交流から始める 子どもの育ちの接続～」

8月 幼保こ小 夏季研修

10月 各運動会

11月

12月 栄町こども園 交流会

1月第二回 幼保こ小連絡会議

2月 幼保こ小交流会
各園所学校見学・体験

今年度は上記目標のために、まずは就学前施設と小学校が「お互いの現場を知り、学ぶことをしていこう」と取り組みました。

12月には栄町こども園の教職員2名が、小学校現場を見学に来られました。小学校ではどのような授業をしているのか、子どもたちの様子はどのようなものかを見学された後、育ちの接続をテーマに意見交換を行いました。その成果として、園に通っていた個々の子どもたちの成長を感じたことや、これまでの園・小学校の先生方の工夫や苦勞を共有することで、指導における注意点や支援を行う際の配慮すべき点にお互い目を向けることができ、とても有意義な時間を共有できました。

上の写真にあるように、今年度も交流会を行いました。テーマとしては「校区のこども園を迎えて」とし、1年生が主体となり、次年度に入学予定の5歳児たちが安心して入学を迎えることが出来るようにすることをねらいとしておこないました。

最初は緊張していた園児たちも徐々に緊張がほぐれて笑顔で一緒に遊んだり踊ったりしていました。

育ちの接続をスムーズにするには各園所と学校の細やかな意識の共有が必要

この一年、各園所の先生方としっかりと情報交換できたことはお互いの苦勞も知ることができてとても有意義であったと思いました。ただお互い、なかなか時間が取り辛いのと、大局的にこれらの問題について話し合うというよりは、自分たちの教えた子どもたちの情報を通して今回のテーマについて考えてしまう傾向もちらほらではあるがみられました。話のスタートはそれで十分であるとは考えますが、今後、ますます多様化する子どもたちの課題に対して、さらに一歩進んだ視点をもって話し合っていくこと、そして適切な情報を共有することが今後必要になってくると考えます。